

ソフト事業のみ  ハード事業を含む

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和5年度

市町村名	鴻巣市					
提案事業名	賑わい創出交流拠点整備事業					
事業期間	令和2年度 ~ 令和3年度					
成果指標	(成果を検証する指標) カフェの売上金額					
	(成果検証の具体的な方法) カフェ事業の収支報告により算出					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	Ⓐ Ⓑ Ⓒ
	従前値 (R1年1月時点)	0円	目標値 (R5年3月時点)	100万円/月	実績値 (R5年3月時点) ※年度平均	849,525円/月
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標)	10,000人	稼働率 (%)	(目標)	
	(実績)	16,810人	(実績)			
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページにより公開				

## 【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 賑わい創出交流拠点施設整備事業	○	1階部分のカフェを中心に、2階には試作スペースや会議室を設けるなど、複合的な施設設計をしたことにより、マルシェ・移住セミナー等の様々なジャンルのイベントにも対応でき、売上や来場者の増加につながった。
② 施設運営準備事業	○	施設機能や地場産品を活用したメニューを研究するワークショップの開催により、エディブルフラワーを活用し、本市の農産物の高付加価値化につなげたほか、オープン後においても産官学連携メニューの開発を行う体制を構築した。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	施設整備のためのワークショップを実施し、産官学様々な分野の方との意見交換を行ったことで、拠点施設としての機能を備えた施設整備と魅力的な施設運営につながった。また、準備段階から産官学連携による検討を行ってきたため、運営開始後も継続した事業の実施につながっている。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	拠点施設としてのハード面は整い、事業効果は認められるものの、売上は目標値に届いていないため、管理運営事業者と施設の周知をより一層図るとともに、地場産品を活用したメニュー開発等のカフェとしての魅力向上や2階部分を有効に活用した施設利用について引き続き検討していく。